

# 芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。  
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。  
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

## 留学者情報

学籍番号	BP22104
氏名	松本優瑞
学部	システム理工学部
学科(コース等)	電子情報システム学科(国際プログラム)
学年(渡航開始時)	3年
ウェブ等への体験談掲載への同意	<input checked="" type="checkbox"/> 氏名も掲載してよい <input checked="" type="checkbox"/> 学部・学科まで掲載してよい <input type="checkbox"/> 完全匿名での掲載を希望

## 留学先情報

渡航型/オンライン型	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航型 <input type="checkbox"/> オンライン型
プログラムタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 授業履修型 <input type="checkbox"/> 研究室配属型
国・地域名	ノルウェー
都市名	スタヴァンゲル
留学先大学名	スタヴァンゲル大学 (University of Stavanger)
留学期間	<input type="checkbox"/> 3ヶ月未満 <input checked="" type="checkbox"/> 3ヶ月～半年 (1セメスター程度) <input type="checkbox"/> 半年～1年 (2セメスター程度)
プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等) 2024年8月中旬 プログラム終了時期 (2021年9月上旬等) 2024年12月中旬
留学時期 (主に留学をしていた時期にチェックをお願いします)	<input type="checkbox"/> 1年前期 <input type="checkbox"/> 修士1年前期 <input type="checkbox"/> 1年後期 <input type="checkbox"/> 修士1年後期 <input type="checkbox"/> 2年前期 <input type="checkbox"/> 修士2年前期 <input type="checkbox"/> 2年後期 <input type="checkbox"/> 修士2年後期 <input type="checkbox"/> 3年前期 <input type="checkbox"/> 博士以上 <input checked="" type="checkbox"/> 3年後期 <input type="checkbox"/> 4年前期 <input type="checkbox"/> 4年後期
上記協定校を志願した理由を教えてください。	治安や自分がそこで半年間そこで生活することを考えた場合に安心して過ごし勉学に励むことができそうだったからです。また、自分の友人が隣国のスウェーデンに留学へ行くことと決めていたことや幸福度が高いと言われているのは実際はどのような感じなのか興味があったという点、自分が学びたい分野の授業があったという点により上記の協定校を志願しました。
(研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。(SIT指導教員の紹介等)	

## 留学中の学籍について

休学の有無	<input type="checkbox"/> 休学をした <input checked="" type="checkbox"/> 休学しなかった
休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。(留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取得済み、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等)	卒業のために留学が必須となっているコースため

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。

基本的に授業は全14回あり1週間に2回から3回ほど4時間程度の授業がありました。課題に関しては自分でプログラムを作成しGithubにアップロードするものやグループで取り組むもの、レポート課題など授業やその授業の週によって少し違いがあるというような形でした。難易度としてはそこまで難しくありませんが慣れていない長時間の授業という面とスピードが日本と比べて早いように感じられた印象でした。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。(たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。)

科目名①	Information and Software Security	単位数 (現地単位数)	10
科目概要	このコースでは、情報セキュリティの入門とソフトウェア・セキュリティの基礎知識を学ぶ。ソフトウェア・セキュリティとは、外部からの悪意ある行為による攻撃を受けても、期待通りの動作をし続けるソフトウェアを開発する方法です。つまり、可用性だけでなく、機密性や完全性といった属性にも配慮することです。このコースでは、よくあるエラーとその対策を紹介し、より良いソフトウェア・セキュリティに貢献するソフトウェア活動について説明します。 以下のスタヴァンゲル大学のHPから引用 <a href="https://www.uis.no/en/student/course/DAT250_1">https://www.uis.no/en/student/course/DAT250_1</a>		
科目名②	Operating System and Systems Programming	単位数 (現地単位数)	10
科目概要	このコースでは、オペレーティング・システムの入門、オペレーティング・システムの実装方法、オペレーティング・システムに対する効率的なプログラミング方法、特にスレッド・プログラミングとプログラム内のスレッド間の同期に焦点を当てます。 以下のスタヴァンゲル大学のHPから引用 <a href="https://www.uis.no/nb/student/course/DAT320_1&amp;">https://www.uis.no/nb/student/course/DAT320_1&amp;</a>		
科目名③	Transnational perspectives on Nordic gender equality and welfare	単位数 (現地単位数)	10
科目概要	このコースでは、北欧のジェンダー平等と福祉モデルをトランスナショナルな視点から調査する。このコースでは、フェミニズム理論とジェンダー研究の観点からこれらの問題を取り上げます。 ワークライフバランス、国家の役割、「女性に優しい」度合い、交差するジェンダー理論と政治など、北欧の社会民主主義の伝統におけるジェンダー平等と福祉の理論、政策、政治の重要な特徴について議論します。また、北欧の支配的な平等規範が、ヘテロ規範的であり、ナショナリズム的であり、人種主義に基づくものであるという批判が高まっていることについても考えることを目的とする。先住民コミュニティ、移民、LGBTQI+の人々への研究の関心の高まりも考慮しながら、これを進めていく。このコースが焦点を当てる包括的な問いは、国境を越えた範囲と関連性を持つ緊急の問題である：北欧モデルは国境を越えた文脈に適用可能か？北欧のジェンダー平等の原則は、資本主義経済モデルから切り離された繁栄と福利の重視の高まりとどの程度結びついているのか？ 以下のスタヴァンゲル大学のHPから引用 <a href="https://www.uis.no/en/student/course/GEN330_1">https://www.uis.no/en/student/course/GEN330_1</a>		
科目名④		単位数 (現地単位数)	
科目概要			
科目名⑤		単位数 (現地単位数)	
科目概要			
科目名⑥		単位数 (現地単位数)	
科目概要			

## 留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。

同じ授業を履修している友達を作っておくと色々助けられると思います。課題をやる上でも授業を受けていく上でもどこかで自力だけでは対応しきれないような場面が出てきたのでいてくれてありがたかった記憶があります。そして、海外で生活すると言うのはとても貴重な経験なので誘われたら少しめんどくさかったり疲れている時があると思いますが行ってみると今まで体験したことのないような事柄や多くの出会いがあるので「YES MAN (WOMEN)」となってなんでも挑戦してみることをおすすめします。

## 自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。  
(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)

この留学で感じたことの1つとしてあるのは自分の足でそこに訪れないと何もわからないということです。留学に行く前は、訪れたこともないのにイギリスやパリは何となく自分に合っておらずイタリアが一番好きな国だと感じていたのに対しざそれらの国に訪れるとイギリスではほとんどの美術館が無料なことに感動し日本で買うよりも大幅にお得な洋書を多く購入しパリでは1週間もいたのにまだ日数が足りないと思う程どちらも楽しむことができ、逆にイタリアがピサやフェレンツィ、ローマ、リツマジョーレなど多くの都市を訪れてもどこか歓迎されていない気分となりそこに訪れる前と後では気持ちに対して大きな差がありました。今の時代、インターネットなどで多くの情報が得られますがそれはただの情報であり実際とは大きく異なるだと感じました。

日本に帰国して感じることは、すべてが完璧すぎて気が抜けないということです。道は綺麗で落書きなどほとんどの場所で見当たらず電車も時間通りに来ることやコンビニで好きなものを好きな時間で購入できる。これらは日本に住んでいると当たり前には享受出来ている自由な状態ですが海外では日曜日にスーパーやっておらず午後10時頃には閉店してしまったりバスは時間通りに来ないことや電車が突然、止まることなど日常茶飯事でした。しかし、それが刺激となり楽しくなり何となく気持ちに余裕が生まれるような感じがしました。日本を出て生活を始める数週間は驚きと不便なことで振り回されるかもしれませんが人は慣れてくるものでその不便さが恋しくなったりするものです。半年間は長いように思いますが気が付くともう終わりという状態となってしまうので多くの国や地域を訪れてその多くのことを体験してみてください。

### 留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)

指定校の中には英語開講の授業が存在しないところや今まで誰もそこに留学した人がおらず十分な情報を得ることが難しい学校もあるのでインターネットやSNSを活用して学校からの情報だけでなく自分で調べたことを照らし合わせて指定校を決めて行く必要があるように感じました。また、TOEICの点数は高ければ高いほど良いのである程度の点数がない場合には留学前の長期の休みなどで外部受験をしてしっかりと記録を得ておく必要があると思います。
- ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)  
(渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

北欧の方にビザを申請するとなるとそこで一定の生活が出来る経済力があるのかどうか確認する為に銀行口座の残高の証明が必要となりそれが少し大変という印象がありました。また、パスポートが一度、北京に送られそこで色々処理が行われるため手元にパスポートがない期間が一カ月程度あるのでその中で留学の準備をしていくのは不安となる面がありました。
- その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。

クレジットカードは複数枚持つておくことをお勧めします。ヨーロッパの方に留学をすると多くの国に旅行へ行ける機会がありそうすると飛行機代や宿泊費でクレジットカードの上限に近くなることがあるのと1枚無くしても余裕がある方が良いでしょう。また、Wiseなどのデビットカードも1枚作っておくと生活する上で支払い日など気にしなくて良いので生活しやすいと思います。

### 滞在先の宿泊施設などの情報 (渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

- 宿泊先のタイプを教えてください。(協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等)

指定校の寮
- 上記宿泊先はどうやって手配しましたか？(出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等)

出願終了後、送られてきた資料にあったサイト (Min SiS) から学校の近さや値段などを考慮して手配しました。
- 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか？

事前に予約してあったバス
- 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか？交通手段や所要時間を教えてください。

自分が住んでいた寮は歩いて学校まで15分程度でした。
- 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。

自分の部屋はベットと棚、机と椅子が付いて少し余裕があるような広さでした。そこに共用のバスルームとキッチンがありバスルームは少し狭いですがキッチンは共用スペースと一緒にいるので余裕があつて4階なのでキッチンの窓から見える景色がとても素敵でした。

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	¥5,000	
往復航空券代(往復)	¥360,000	
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	¥50,000	
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	¥20,000	
計	¥435,000	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥50,800	奨学金で賄える
食費/月	¥20,000	
その他/月	¥20,000	旅行などで月によって差があるが平均これぐらい
計	¥90,800	

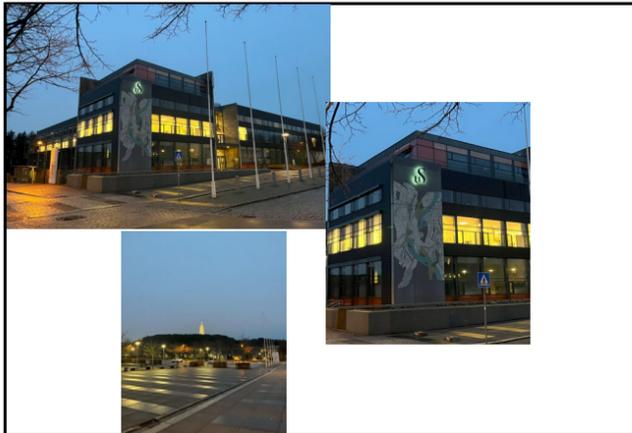
奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥100,000	
計	¥100,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。  
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

ノルウェーのスタヴァンゲル大学です。

宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

自分が滞在していた寮の写真です。到着した当時の部屋は、枕や毛布がない状態でした。

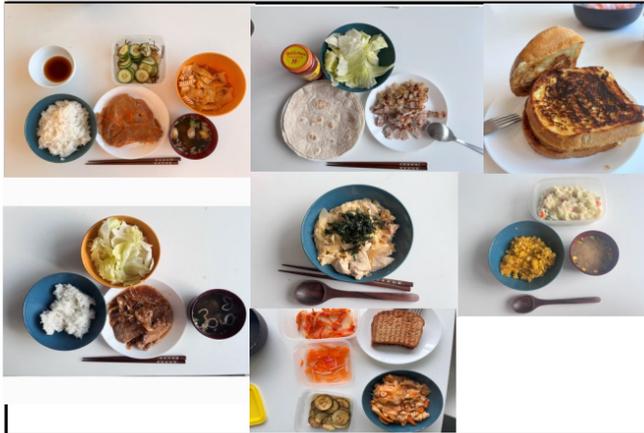
その他、任意の写真



説明文

自分が滞在していたスタヴァンゲルの様子です

その他、任意の写真



説明文

基本的に自炊して生活していました

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。